

湖西地域県立高等学校魅力化方針

令和元年（2019年）10月
滋賀県教育委員会

1 湖西地域の県立高校2校を取り巻く現状と課題

- 湖西地域の高校の定員未充足が深刻な状況であり、学校活力の低下が懸念される。
 - 特に安曇川高校は、普通科が5年連続、総合学科が4年連続定員未充足
 - 今後、さらに湖西地域の中学校卒業予定者は減少の見込み
 - ※ R 1(現高1) 411人 → R 4(現中1) 365人(▲ 46) → R15(現1歳) 263人(▲148)
 - 地域内中学校卒業者の3割以上(R1 31.4%)が地域外高校等へ進学する傾向が顕在化
 - ※ 大学進学等に実績のある高校への進学が増加
- 湖西地域2校のさらなる魅力化は、全県的視野での県立高校の在り方の検討（現行再編計画）とは別に、喫緊の課題として早急に対応する必要がある。

2 魅力化の取組内容

- 目指す学校像や具体的取組 資料

| 目指す学校像 | 魅力化の柱となる取組や具体的取組 | |
|------------------------------|---|--|
| 遠隔地の高校を選択しなくても、進路実現ができる学校 | | ・ 地域内の生徒の多様なニーズに対応した学びを提供 |
| | 安曇川高校 | ・ 総合学科に新系列の設置、既存の系列の魅力化 ・ 普通科募集停止（高島高校に新設する学科に継承） |
| | 高島高校 | ・ 進学指導に重点を置く新学科の設置 |
| 豊かな人間性を備え、将来、地域で活躍できる人を育てる学校 | ・ 地域と連携・協働した取組等により、将来、地域で活躍できる基盤となる知識や技能を習得できる教育を推進 ・ 部活動の活性化等による学校の魅力化の推進 | |
| 手厚い指導を実践する学校 | ・ 少人数学習等による生徒一人ひとりに応じた指導 ・ 生徒への指導力や面倒見が定評となる教員集団づくり | |

3 スケジュール

- 両校の校内に魅力化に係る検討委員会を立ち上げ、関係者等からの意見を反映させながら具体的な取組内容を検討
- 令和元年度末に教育委員会規則改正
- 令和2年度の学校説明会、体験入学等において新しい取組の周知ができるよう準備
- 令和3年度から実施

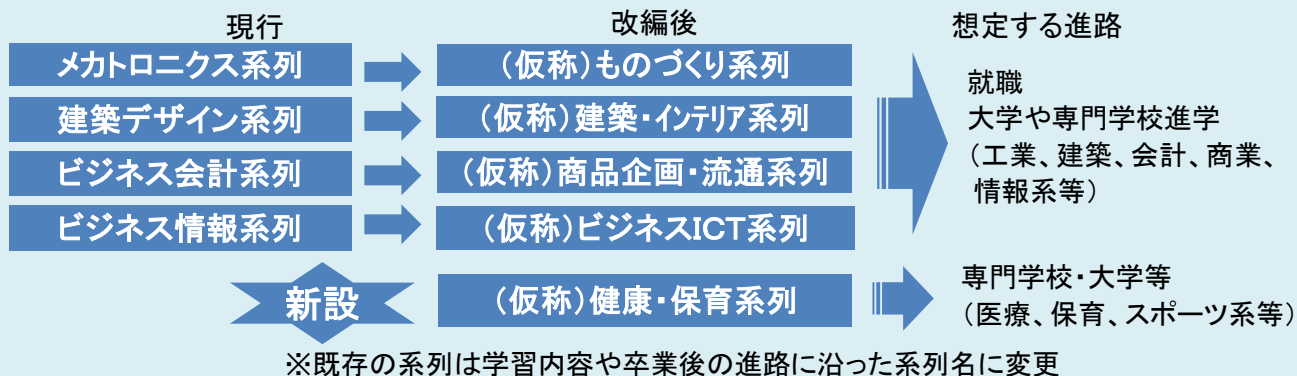
安曇川高校・高島高校の取組内容

安曇川高校

豊かな人間性を備え、専門的な学びを通して地域社会で活躍することができる資質や能力の育成

- 具体的取組
 - ・ 総合学科に新系列の設置、既存の系列の魅力化
 - ・ 普通科募集停止（高島高校に新設する学科に継承）

総合学科の系列について



魅力化

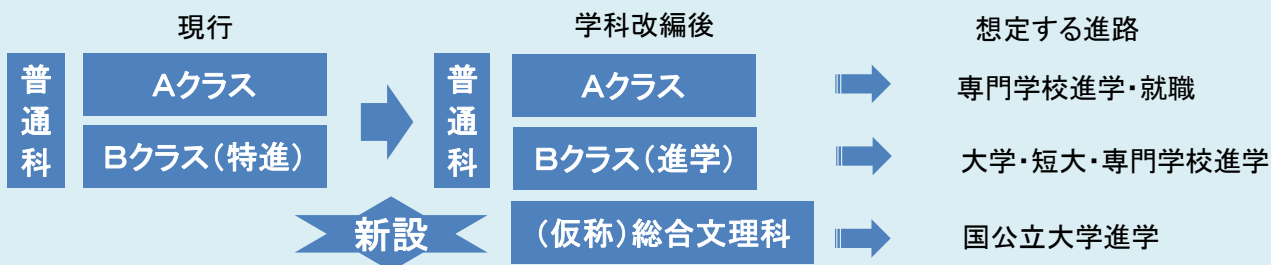
- 少人数で丁寧な授業、国語、数学、英語の基礎学力の充実を図る学習の実施
- 豊かな感性や人間性を育成するための学校行事や部活動の充実
- 自己の興味・関心に応じ、新たに設置した系列を加えた5つの系列から選択して学習
- インターンシップ等を通して進路実現につなげる取組の推進、系列同士の連携による学びの深化

高島高校

豊かな人間性を備え、グローバルな時代に主体的かつ柔軟に対応し、幅広い分野で活躍できる資質や能力の育成

- 具体的取組
 - ・ 進学指導に重点を置く、(仮称)総合文理科の設置
 - ・ 新学科と普通科の共通科目の設定による、生徒同士の学び合い

クラス構成について



魅力化

- 確かな学力を身につけるための7限授業の実施（総合文理科と普通科Bクラス）
- 豊かな感性や人間性を育成するための学校行事や部活動の充実
- 地域人材を育成するための、地域との協働学習の推進
- グローバルな視座を培うためのICTを活用した海外との交流・海外実習などの推進